

事業番号	15 05 01	事業改善シート (25年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	教育課題対応支援事業				担当課	部局	教育委員会事務局	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	教学指導課		
	施策の総合的展開				E-mail	kyogaku@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	不明 ~		

1 事業の概要

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 教育現場での様々な課題に対応するため、研修会等を今後も継続することにより、教職員の指導力が高まる。 幼児、児童、生徒一人一人に応じたきめ細やかな指導がなされ、豊かな人間性・社会性が育まれる。 		
現状	<ul style="list-style-type: none"> 教育課題への対応の多様化が求められており、各種教育の推進のために、次の研修や事業等を実施している。 環境教育指導力向上に向けた研修 外国籍児童生徒の指導に携わる教員等を対象にした研修 学校環境美化や豊かな情操教育のための事業 幼児教育の振興を図る事業 教科用図書の採択の適正な実施にかかる事業 		
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 義務教育諸学校教科用図書無償法第6条11条 教育公務員特例法附則第4条	
	県民との協働による実施：困難		

事業内容	① 成果目標(H25)					
	<ul style="list-style-type: none"> ○校内で諸課題について学び合う研修会を実施している小中学校の割合を、H29年度75%に向け、H25年度70%以上にする。 ○幼児と児童が交流している小学校の割合を、H29年度100%に向け、H25年度95%以上にする。 					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H25事業実績		
				H25 (当初)	H25 (決算)	H26 (当初)
		教科用図書研究調査費	直接	367	316	1,253
		環境教育推進事業	直接	175	175	175
	外国籍等児童生徒指導研修事業	直接	144	144	144	
	教育研究団体助成事業	負担金	750	750	750	
	幼児教育振興事業	直接	255	244	387	
	「みんなでつくろう学校登山のすすめ」推進事業	直接	0		304	
			合計	1,691	1,629	3,013

事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越	0	0	0	0
	当初予算	3,005	1,702	1,691	3,013
	補正予算	0	0	0	0
	合計(A)	3,005	1,702	1,691	3,013
	国庫支出金	0	0	0	0
	県債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	3,005	1,702	1,691	3,013
	決算額(B)	1,765	1,339	1,629	
概算人件費	職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00
	概算人件費(C)	8,258	8,258	8,258	8,258
	概算事業費(B(A)+C)	10,023	9,597	9,887	11,271

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
研修会実施の学校の割合	68.8%	70.0%	72.1%	達成	73.0%
幼児と児童生徒が交流会を実施している小学校の割合	93.9%	95.0%	96.2%	達成	96.5%

目標に対する成果の状況	校内で諸課題について学び合う研修会を実施している小中学校の割合は、H25年度72.1%であり、各学校における取組が進んできている。また、幼児と児童が交流会を実施している小学校の割合は、H25年度96.2%であり、幼児教育が推進されてきている。
-------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない	<input type="checkbox"/> 事業を見直して実施	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度作成した「校内研修アシストブック」を活用した研修会をさらに進め、教育現場での様々な課題に対応するとともに、教職員の指導力が向上するようにする。 ・子どもたちの発達や学びの連続性を踏まえた幼保小の連携をさらに強化し、幼児、児童、生徒の交流や、保育士と教諭による相互参観や合同研究会等を行う。 		